


成果報告様式

## 東京工芸大学「学生による工・芸共同研究」成果報告書

共同研究 責任者	所属:	芸術学部 ゲーム学科	学籍番号: 1127058	氏名:	林 竜樹 
申請活動名	エコサークルEARTH				

指導(支援)教員名	所属・職位	役割分担
小川真理子	芸術学部基礎教育課程・教授	顧問
参加した学生の氏名・所属・役割分担		
所属: ゲーム学科	氏名: 林竜樹	役割: 代表
所属: ゲーム学科	氏名: 石川卓也	役割: 活動メンバー
所属: ゲーム学科	氏名: 齋竜輔	役割: 活動メンバー
所属: デザイン学科	氏名: 小谷仁美	役割: 活動メンバー
所属: 生命環境科学学科	氏名: 湯山翔	役割: 活動メンバー
所属:	氏名:	役割:
所属:	氏名:	役割:
所属:	氏名:	役割:
所属:	氏名:	役割:
合 計	5名	
活動の内容(できるだけ詳しく)		
学生や職員、地域の方々に環境について興味・関心を持ってもらうためごみ拾いを中心とした活動を行った。		
<p>ごみ拾い</p> <p>厚木市の厚木まち美化パートナーに加盟しごみ拾いの活動を行う。大学周辺のごみを分別しながら拾っていく。人に会ったらあいさつをし、防犯パトロールも兼ねる。ごみ収集後は集まったごみの量を計測し、記録していく。ごみ拾いは1時間程度で、収集や分別あとかたづけ等で30分程度、合計1時間半程度の活動。</p> <p>アートごみ拾い@ATSUGI</p> <p>「街がきれいになれば、もっと好きになるはず。街をきれいにしてアートのような美しい街にしよう！」と本厚木駅を中心にいくつかのブロックに分けごみ拾いを1時間程度行う。収集や分別あとかたづけ等で30分程度、合計1時間半程度の活動。メンバーだけでなく一般方も当日集合で参加可能にした。駅前でのチラシ配布、大学周辺の工場・厚木市内のコンビニ・大学内にポスターを張り、一般の方に宣伝する。ごみ収集後は集まったごみの量を計測し、記録していく。また、参加者にアンケートを取り、この活動に対する意見や感想を調査する。</p> <p>ポイ捨て・路上喫煙禁止キャンペーン</p> <p>月に1回、本厚木駅又は愛甲石田駅周辺で、厚木市環境保全指導員やポイ捨て防止ボランティアの方々が行う、ポイ捨て禁止や路上喫煙禁止を呼びかける啓発活動に参加。</p> <p>木の植え替え</p> <p>学生支援センター&lt;HOME&gt;に木の植え替えを依頼され、作業を行った。</p> <p>広報活動</p> <p>ホームページを作成し、ごみ拾いの参加を呼び掛ける。また、私たちの活動について知ってもらい環境について関心・興味を持ってもらう。アートごみ拾いに関しては、大学からのプレスリリース、厚木市記者クラブへのプレスリリース、本学・本厚木駅前でのチラシ配布、厚木市役所内への宣伝、商工会議所への宣伝、厚木市内の3つの大学への宣伝、厚木市環境保全指導員への宣伝、厚木市建設業協会への宣伝などを行った。</p>		

活動のスケジュール			
毎週金曜日の打ち合わせ			
9月			
ゴミ拾いに向けての準備(ポスター・チラシ制作)			
10月			
ゴミ拾いに向けての準備(チラシ配布・ポスター掲示等の広報活動)			
11月			
ゴミ拾いに向けての準備			
本厚木駅周辺で一般の方も参加可能なゴミ拾い(11月12日)			
学校周辺のゴミ拾い(11月25日)			
12月			
ゴミ拾いに向けての準備			
ポイ捨て・路上喫煙禁止キャンペーンへの参加(12月5日)			
学校周辺のゴミ拾い(12月9日)			
本厚木駅周辺で一般の方も参加可能なゴミ拾い(12月10日)			
学生支援センター<HOME>の木の植え替え(12月16日)			
活動により得られた成果			
<p>本学周辺のごみ拾いを行い、1回目・2回目とも約2kgのごみを拾うことができました。特にタバコが多く目立ち、大学内でのマナー向上の呼びかけが必要だと感じた。場所によっては一度きれいにしたのにもかかわらず、またごみが落ちていたり、看板の設置など改善の必要がある。</p> <p>アートごみ拾いでは1回目が約3kg、2回目が約7.6kgのごみを拾うことができました。一般の方は1回目は2名、2回目は9名と初めての活動ながら一般の方を募ることができた。年代も20代から80代以上と幅広い年代の方が集まった。参加者へのアンケートによると、思ったよりごみが多く、参加できてよかった、いい企画だと思うなどの意見があった。活動は市のホームページ・タウンニュース厚木版・本学広報誌えんのき・本学コウガイブログで紹介された。また、ポスターの設置はモスパーガ一本厚木北口店など厚木市内30か所に協力してもらうことができた。</p> <p>活動全体を通して、社会の様々な年代・職業の人とコミュニケーションを図ることができた。活動の大変さや喜びなど大学では経験できないことを多く学ぶことができた。</p>			
今後の活動予定			
<p>活動人数や活動期間の都合もあり、最初に考えていた他のプロジェクトができなかった。メンバーが多くなればプロジェクトの数を増やしていくが、今の段階ではゴミ拾いの活動に特化し、質を高めていく。ゴミ拾いの活動は駅周辺だけでなく、様々な場所で行いたいと考えている。また、他団体や他大学と共同で行い、コミュニケーションの輪を広げていきたい。そして、より学生や地域の方などの広く社会に向けて、環境について関心・興味を持ってもらうようにしていく必要があると思う。</p>			
活動経費 ※金額を記入			
1. 物品費	68,567	(円)	(主な内訳)
機器備品支出	0	(円)	のぼり旗、ボールペン、透明テープ、パーカー
用品費・消耗品費	68,567	(円)	マグネットクリップボード、軍手、トンガ、ポリ袋
図書・図書資料費	0	(円)	
その他物品費	0	(円)	
2. 活動費	20,927	(円)	(主な内訳)
旅費	7,740	(円)	ポスター、バス代、道路使用許可、
通信運搬費	0	(円)	
印刷製本費	9,187	(円)	
業務委託費	0	(円)	
諸会費	0	(円)	
その他活動費	4,000	(円)	
経費合計	89,494	(円)	

※ 補足資料 1点